

県議会、申請を了承

島根3号機安全審査

中国電力が稼働を目指す島根原発3号機(松江市)について、県議会は6日、原子力規制委員会への安全審査申請を、賛成多数で了承した。溝口善兵衛知事は「関係する自治体全ての意見をお聞きした上で、最終的に決定する」と改めて述べた。

原発についての議論を所管した総務委員会の池田一委員長(自民)が「まずは原子力規制委に安全性について確認してもらうことが必要」との賛成意見や、「県民の理解が進んでいない」などの反対意見が出たことを報告。その上で、賛成多数で審査申請を了承することを委員会で決めたと述べた。

また知事に対しては、「判断にいたった論拠、考えについて、県民にわかりやすく示す」ことを強く求めた。池田委員長は取材に「知事はこれまで『周りの自治体の意見をよく聞いて判断する』と話しているが、知事自身の考えを聞きたいということだ」と述べた。

に拙速だ。申請と稼働が別と云うのは空論だ」。山本県議は「高レベル放射性廃棄物の処分場所や方法が未解決の中での稼働はありえない。万が一のときの避難にも多くの問題がある」と主張した。

起立による採決では、安全審査の申請が自民、公明

などの賛成多数で了承された。

また県議会は同日、任期満了を迎える鴨木朗教育長(60)の後任に、元政策企画局長の新田英夫氏(60)を起用する人事案に同意。一般会計補正予算案など18件を可決・同意して閉会した。(内田快)

続いて了承に反対する立場から、尾村利成県議(共産)と山本晋県議(民主県民)が意見を述べた。

尾村県議は「各種の会議や説明会では反対の意見が大勢を占めていた。あまり